

## 植生指標検討部会開催方針について

環境省釧路自然環境事務所

## 1. 背景及び部会開催の目的

第 32 回世界遺産委員会（平成 20 年 7 月開催）において、エゾシカによる自然植生への影響に関する指標作成等が要請されたことを受け、平成 23 年度第 1 回知床世界自然遺産地域科学委員会にて、当該決議を踏まえた指標開発等を行うため、エゾシカ・陸上生態系 WG（現エゾシカ WG）の作業部会として、植生指標検討部会の設置が了承された。

植生指標検討部会の設置にあたり、以下に掲げる 2 つの指標開発を行うことを目的として検討を進めることとされた。

- ①エゾシカ個体群への人為的介入を検討すべき状況を示す指標
- ②エゾシカ個体群への人為的介入の効果の検討に用いる指標

**本部会のミッション**

- 植生の状態（回復状況）の定量的な評価のために採用する指標及び必要なモニタリング手法の確立。
- 植生指標に基づくエゾシカ対策の実施方針の決定、対策効果の評価を実現。
  - 植生モニタリングだけでなくシカの生息動態把握手法の面からも検討が必要
  - 植生回復状況の評価にあたっては、回復目標の妥当性についても検討が必要

## 2. これまでの開催経過

本部会を平成 23 年度から平成 30 年度にかけて計 6 回開催し、植生の回復過程を示す指標種等を取りまとめた。その結果は「第 3 期知床半島エゾシカ管理計画」における「第 3 章モニタリングと評価」として反映させた。

その後は、次期管理計画の策定に向けた植生の管理目標に係る検討のため、本部会の設置を継続し、必要に応じて開催する形をとっている。前回（第 3 期管理計画終期）の開催状況は以下の通り。

## &lt;スケジュール&gt;

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 令和 3 年 7 月 1 日   | <b>第 1 回植生指標検討部会</b> |
| 令和 3 年 7 月 2 日   | 第 1 回エゾシカ WG         |
| 令和 3 年 10 月 27 日 | <b>第 2 回植生指標検討部会</b> |
| 令和 3 年 12 月 3 日  | 第 2 回エゾシカ WG         |
| 令和 4 年 2 月 16 日  | 第 3 回エゾシカ WG         |

<議題>

・第1回

- (1) 植生指標検討部会について
- (2) 植生モニタリング結果の総括
- (3) 今後のモニタリングの実施手法や評価手法における課題

・第2回

- (1) これまでの植生モニタリング結果の総括
- (2) 第3期知床半島エゾシカ管理計画の見直しについて
- (3) 知床世界自然遺産地域長期モニタリング計画の見直しについて

3. 今後の予定

<次回の議題(案)>

- (1) これまでの植生モニタリング結果の総括
- (2) 今後のモニタリングの実施手法や評価手法に関する検討
- (3) 第4期知床半島エゾシカ管理計画の見直しについて

<想定スケジュール>※資料3-2 参照

○令和7年度

- ・これまでの WG 議論を元に植生の評価手法(必要に応じてモニタリング手法)の素案を整理。有識者の事前ヒアリングを経て、第1回植生部会(11月頃)に提示。
- ・部会での検討状況を踏まえて年度末までに素案を案に仕上げる。同時に2025年度までの植生モニタリングの状況を踏まえて結果総括の骨子を作成する。

○令和8年度

- ・第1回植生部会の議論を踏まえてリバイスした案を第2回植生部会(6月頃)に提示。評価手法について概ね固める。
- ・第2回植生部会の議論と令和8年度の植生モニタリング結果を反映させ、結果総括案を作成する。また、新たな植生評価手法を踏まえた次期管理計画の案を作成する(必要に応じてエゾシカのモニタリング手法も見直し)。
- ・第3回植生部会(11月上旬)にて植生モニタリング結果の総括及び次期管理計画の植生関係部分をセット。その後に開催されるエゾシカ WG に提出。
- ・エゾシカ WG での最終確認を経て、管理計画の改定。